

【特集】

現役学生のホンネ

聞いてみました！

調査概要

- 調査対象
高校生（県内の県立高校、私立高校）
大学生（富山県立大学、富山国際大学等）
- 調査時期 令和7年5月
- 実施方法 オンライン調査
- 回答数 198件

将来、富山県で働きたいと
思いますか？

YES
73.7%

富山県で
自分のやりたい仕事
が見つかると思いますか？

YES
68.7%

富山県で起業や
新しい事業を始めること
に魅力を感じますか？

YES
40.4%

富山県であなたが
理想とする働き方を
実現できると思いますか？

YES
61.1%

ホントのところ、学生の
みんなは自分の未来を
どんなふうに考えている
のかな？

富山の好きなところ、
もっと良くなしてほしい
ところも聞いてみたよ！

一度は都会で
生活してみたいと
思いますか？

YES
71.2%

富山県を離れても、
いつかは富山県に
戻ってきたいと思いますか？

YES
83.3%

富山県に
長く住み続けたいと
思いますか？

YES
69.2%

県内の高校や大学等のご協力を得て、これからの未来を担う県内の高校生、大学生の「富山県に対する率直な思い」を聞くため、独自のアンケート調査を行いました。



もっと
良くなるには？

● 場所や金銭に制限なく、
均等に良い教育を受けられる
環境になってほしい。
（富山県立大学4年 Nさん）

● リモートでの仕事が
それほど多く広まって
いない。
（石動高校3年 Mさん）

● 男性が育休を取る
ハードルが高いように
感じている。
（富山高校2年 Aさん）

● 都会に比べて、
職業の選択肢が
少ない。
（雄山高校3年 Rさん）

● 若者が
住みやすいまちづくりを
してほしい。
（高岡工業高校3年 Kさん）

● 公共交通機関が充実し
ておらず、家から富山駅に
行くのも大変。
（富山県立大学1年 Mさん）

● 女性の意見や若い世代
の意見が反映されてい
る実感がない。
（富山県立大学1年 Nさん）

● 横断歩道で止まってく
れる車が少なく、危険を
感じるがある。
（富山県立大学3年 Hさん）

● 商店街の活気が戻ってほしい。
（砺波高校2年 Mさん）

● 子育ての支援があり、
施設が充実していて、
他県より過ごしやすいと
思う。
（富山中野高校2年 Sさん）

● 人混みが少なく、
暮らしやすい。
いろんな文化を感じられる。
（富山県立大学4年 Yさん）

● 美味しい
カフェや飲食店が
たくさんある。
（富山国際大学3年 Rさん）

● 都会に比べてのどかで、
事件が少ない。
（高岡高校3年 Tさん）

● 土地代が高すぎず、
家を建てる際のハードルが低い。
（新川高校3年 Tさん）

● 生まれ育った富山県で
ずっと過ごしたいと
思っている。
（雄山高校3年 Sさん）

● 身内が近くにいるから
安心して結婚・出産
ができる。
（南砺福野高校3年 Hさん）

富山の
ここが好き！

● 地域に関わることに
興味がある。
富山の人は温かいから、
地域密着型の
働き方ができそう。
（富山大学1年 Aさん）

● 地域のお祭りが盛んで、
開けた土地が多く
海と山と空を一望できる。
食べ物美味しい。
（永見高校2年 Yさん）

県では令和7年2月に人口未来構想をとりまとめ、直ちに取り組むべき施策を令和7年度予算に反映しました。高校生や大学生の思いを叶え、将来にわたって暮らしやすい富山県であるために、どのような施策が行われているかをご紹介します。



人口減少を見据えて、
いろんな施策が
考えられているのね。

暮らしやすい富山県に向かって!

チェックして
おきたい
富山県の
取組み

富山県の人口は、令和6年に100万人を割り込みました。直近の出生率、移動率を用いた試算では、令和42年(2060年)に62万5千人になる見通しであり、大幅な人口減少は富山県の将来に向けた施策を考えるうえで、避けては通れない課題となっています。

子育て支援・少子化対策

ライフデザインセミナー開催事業

大学生や若手社会人を対象に、自身の理想とする豊かな人生を歩めるよう、就職や結婚、子育て等のライフイベントを主体的に考え、将来への不安に応える学びの機会を提供するライフデザインセミナーを開催します。

予算額 520万円

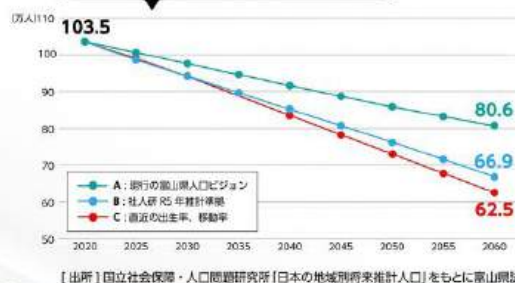
お問い合わせ
知事政策局企画室人口未来課

富山県人口未来構想

男女別・年齢別転出入超過数(R4.10.1~R5.9.30)



富山県の将来人口見通し



公共交通

①城端線・氷見線再構築事業 ②交通まちづくり投資促進事業

富山県地域交通戦略に基づき、鉄軌道サービスの利便性・快適性向上や地域内のモビリティサービスの確保などに向けた取組みを進めています。



[城端線・氷見線新型車両イメージ]

予算額 ① 7億4,520万円
(R7当初、R6.11月補正を含む)

② 1,000万円

お問い合わせ
交通政策局地域交通・新幹線政策室
① 城端線・氷見線再構築推進課
② 交通戦略企画課

直ちに取り組むべき施策

富山県人口未来構想本部(本部長:知事) R6.4 設置、計7回の会議で部局を横断して議論

人口減少自体への対応

自分の生き方を主体的に
選択できるとやまの実現

県民が誇りと愛着をもち、
県外の人から選ばれ
るとやまの実現

子育て支援・
少子化対策

産業振興

移住促進

観光振興

子どもまんが社会

人口減少社会への適応

多様な人材が活躍して
成長できるとやまの実現

安心して快適に過ごせる
とやまの実現

担い手確保

労働生産性向上

外国人材活躍・
多文化共生

持続可能で
安心して暮らせる
地域の環境づくり
(つづら橋型住宅、中山間地域本拠地
創出・育成、豊後・中津
川河川、まほろば、等)

教育・人づくり

関係人口の 拡大・深化

移住促進

とやま移住魅力発信強化事業

首都圏等での移住希望者向けのイベント開催に加え、最新技術を導入し、富山暮らしをリアルに体験できるVRゴーグルの活用を強化します。

予算額 1,115万円

お問い合わせ
地方創生局ワンチームとやま
推進室中山間地域支援・
移住促進課

産業振興

企業誘致戦略推進事業

県外から様々な業種の本社や工場を誘致するために、企業誘致推進会議を創設し、戦略的な活動等を実施します。

予算額 870万円

お問い合わせ
商工労働部成長産業推進室
立地通商課

男性の育児休業取得促進事業

育児休業を取得した男性従業員を雇用する中小企業等に対し、取得期間に応じて助成金を交付し、男性の育児休業取得を促進します。

予算額 5,000万円

お問い合わせ
商工労働部多様な人材活躍推進室
働き方改革・女性活躍推進課

こどもまんが社会

こども総合サポートプラザ運営事業

今年4月に県のこどもに関する4つの相談機関を富山駅前CIC 5階に集約し、いじめ、不登校、非行、ニート、ひきこもりなど様々な悩みや課題を抱えるこどもや家庭からの相談に対応しています。

予算額 3,954万円

富山県こども総合
サポートプラザ

お問い合わせ
厚生部こども家庭室こども未来課

コラム 「こどもの権利に関する条例」(仮称)について

いじめ、虐待、貧困、ヤングケアラー、ネットによるトラブルなど、こどもが元気に幸せな状態で成長するために大切なこと(こどもの権利)が損なわれやすい環境になっています。こうした問題をこども本人や保護者など一部の人の問題と考えるのではなく、条例を作って県全体で取り組む必要があると考えています。唯一人取り残されることなく全てのこどもが幸せになるためにはどうしたらよいと思いますか。



コラム 富山県地域交通戦略の取組みについて

富山県では、富山県地域交通戦略に基づき、持続可能で最適な地域交通サービスを実現するため、自治体・県民の役割を、自らの地域に対する「投資」「参画」とし、取組みを進めています。今年度も、①城端線・氷見線の利便性・快適性向上に向けた新型車両の整備、②バス等の利用促進に向けた取組みへの支援などを進めています。

中山間地域の振興

とやま農村Life推進事業

農村地域における「関係人口」の創出に向けて、多様な農村への関心・関与を、「知る」、「触れる」、「仕事する」、「暮らす」の4ステップに分類し、ステップに応じて様々な事業を実施しています。

予算額 2,330万円

お問い合わせ
農林水産部農村振興課

コラム 「農村関係人口」の創出と拡大

富山県の農村地域には、受け継いでいきたい魅力的な資源がたくさんあります。こうした農村地域を維持するためには、農村に暮らす人だけでなく、まちなかや県外に暮らす人など、より多くの人の支えが必要です。県では、農業や農村に関わることができる様々な取組みを通して、農村のファンを増やし、農村地域に繰り返し訪れたり応援したりする「農村関係人口」の創出と拡大に向けた取組みを進めています。